

進級おめでとう！

さあ、いよいよ3年生です。今年は「中学校生活最後の年」になります。先生たちはこの「最後の年」を「最高の年」にしてほしいと思っています。先生たちもみなさんのために、力を尽くしたいと思っています。また、今年は長岡第三中学校創立50周年となる記念の年でもあります。この記念となる3年の年度当初に当たり、今年をどんな年にしてほしいか、以下に書きます。



今年をこんな年に…

① 日々の生活を大切にしよう。

今年はいうまでもなく進路決定の年です。君たちがこれからどんな生活をしていくか、その準備のための1年でもあります。今年の学校行事を考えてみると、修学旅行や三中祭、体育祭などの学校行事があります。それぞれの行事を、新しく出会った仲間と全力で取り組みましょう。時にはぶつかることもあるかもしれませんが、でもその一つひとつの体験が、これから君たちが大人になるための大切なステップとなります。そしてそれがさらに、これからの生活で、新たな仲間と過ごす「適応力」にもつながります。新しい仲間ともどんどん話しましょう。そして行事だけでなく、掃除や給食配膳などの日常の学級活動もすすんで行き、充実した学校生活を過ごしましょう。

② 学力を身につけよう

(1) 毎日の学習を大切にしよう。

3年生となり、受験に向けた勉強が気になるころだと思います。でも、3年になっても新たな学習内容もあります。日々やるべきことを直実に行う、それもとて大切なことです。日々の学習もおろそかにせず、宿題や提出物など、確実にいきましょう。

(2) 3年間の総復習に取り組もう。

日程や範囲などは改めて連絡しますが、3年生では定期テストのほかに、「復習テスト」というテストを3回計画しています。復習テストというのは、中学校3年間の五教科(国社数理英)の学習内容の確認をテスト形式で行うものです。この復習テストで、3年間の総復習に取り組んでほしいと思います。これまでの長三中の先輩たちもこの復習テストをきっかけに取り組んできました。受験時の受験科目は学校により異なりますが、基本的には「3年間の学習範囲すべて」が試験範囲です。計画的に取り組むことで、受験に向けた準備を進めていってほしいと思います。

高く飛ぶために、低くかがむ必要がある。

iPS細胞の研究でノーベル医学・生理学賞を受賞した京都大学の山中伸弥教授の言葉に、「高く飛ぶためには、思いっきり低くかがむ必要がある」というものがあります。今回、この言葉をみなさんに紹介したいと思います。

山中教授は、研修医時代に、手術の手際の悪さもあり、大きな挫折を味わったそうです。さらに、研究者の道にすすんでも、自身の研究が日の目を見ることがなかなかなく、研究をやめる直前まで追い込まれたそうです。それでもコツコツと検証を繰り返し、やがて iPS細胞を人工的に樹立することに成功します。

そんな先生が後に、「もうダメだと思ったところから、もうひと踏ん張りすると、新しい展開が待っている」、「高く飛ぶためには、思いっきり低くかがむ必要がある」と語っています。なかなかすぐに結果が出ず、悩むこともあるかもしれませんが、そんなときもたゆまぬ努力を惜しむことなく、前向きにチャレンジしていきましょう！

